

第34回 2025知財・情報フェア&コンファレンスの評価・評判

来場者の感想・レビュー

多くの来場者はAI関連の展示の多さに驚きつつ肯定的な感想を述べています。実際、「今年はAIだけだった」との声が昨年から引き続き聞かれ^①、2025年も様々なAIツールが出展されており「AIツールが本格的普及段階に入ったと強く実感した」とのコメントもありました^②。会場は初日午前から熱気があり、「それなりの人出で参加者の関心度も非常に高い」と感じた来場者もいます^③。無料の各種セミナーや出展者プレゼンテーションも満席になるものが多く、「ブース前で開催されるミニセミナーも参考になる内容が多かった」と好評です^④。

来場者アンケート（※）の集計はまだ公表されていませんが、SNS上の投稿やブログからは概ねポジティブな反応がうかがえます。「昨年10月開催時より9月は少し暑かった」ものの、ある参加者はGMOブランドセキュリティ社のブースでアイスコーヒーをもらい休憩できたことを紹介し、同ブースの商標キャラクター「TMB45 (Trade Mark Boys 45)」にも触れるなど、各社工夫を凝らしたおもてなしを楽しんだ様子です^⑤。実際、東京ビッグサイト西ホールの会場内にはロボットによる出迎えなどユニークな演出もあり、たとえばGMOブースではヒューマノイドロボット「ひとみん」と犬型ロボット「めぐりん」が来場者を迎えて記念撮影に応じる企画が展開され、SNS上でも注目を集めました^⑥。総じて、「最新のAI技術やサービスに直接触れられて有益」「業界の人脈づくりに役立った」といった好意的なレビューが目立ちます。

※会場出口などで実施された来場者アンケート結果が後日発表されれば、さらに詳細な満足度評価が判明する見込みです。

出展企業・団体の満足度・声

出展者側の評価も概ね良好で、公式発表では「出展者・来場者共に、満足度の高い展示会となった」と総括されています^⑦。今年のフェアは過去最大の158社が出展し、各ブースは自社製品・サービス紹介で終日大いに賑わいました^⑧。実際、出展各社からは「想定以上に多くのお客様にブースへお越しいただいた」「商談や情報交換が活発に行われた」といった声が聞かれます。例えば前年（2024年）の例ですが、ある特許事務所グループはブース来訪者が524名に上り前年を上回ったことに感謝を述べ、ブース内セミナー（定員120名）も満席になる盛況だったと報告しています^⑨。今年は3日間合計15,207名という昨年（13,032名）を上回る来場者数^{⑩ ⑪}を記録したため、出展者にとっても昨年以上の反響があったと推測されます。

また出展者の声としては、「直接ユーザから要望や意見を聞けて有益だった」「頂いたフィードバックを今後のサービス改良に活かしたい」など、単なる宣伝の場に留まらず双方向コミュニケーションの機会として満足した旨のコメントも見られます^⑫。会期中、X（旧Twitter）や公式ブログ上で「ブースにお立ち寄りいただきありがとうございました」と感謝を発信する企業・団体も多く、例えば工業所有権情報・研修館（INPIT）は「2025知財・情報フェア&コンファレンス、大盛況のうちに終了しました …ブースへお越しいただいた皆さま、ありがとうございました！」と投稿しています^⑬。こうした発信からも、出展側が今回の来場者数・熱気に十分満足した様子がうかがえます。

一方で、出展判断は各社の事情によるとの声もあります。長年毎回参加してきたある特許調査会社は、「昨年・一昨年はブース出展したが、新規顧客をこれ以上増やす状況になく今年は出展を見送った」とブログで明かしており^⑭、必ずしも全ての常連企業が毎年出展するわけではありません。しかし出展を見送った企業

も来場者として会場を訪れて最新情報収集や他社交流を行っており、出展有無に関わらず知財コミュニティ全体が本イベントを重要視していることに違いはありません。

メディア報道・専門誌での取り上げ

「知財・情報フェア&コンファレンス」は知的財産分野では最大規模の展示会であり、その模様は業界メディアや主催者関連媒体で取り上げられています。共同主催の産経新聞社は、知財専門のインフォーマーシャル誌「知財情報&戦略システム」を発行しており、会期初日に同誌最新号を無料公開するなど情報発信を行いました¹⁵。またイベント開幕前には「過去最大の152社が出展」などとするプレスリリースが配信され¹⁶、複数のニュースサイトで開催案内が掲載されています。開催後の一般紙での大々的な報道は確認されませんが、特許庁の河西長官（特許庁長官）が開会式で挨拶し会場を視察したこともあり¹⁷、業界内では注目度の高いイベントとして位置付けられています。実際、イベント業界紙の展示会レポートでは「2024知財・情報フェアは3日間で13,032人を記録。次回は2025年9月開催予定」と前年実績が紹介されており¹⁸、今年はその来場者数が15,000人超と大幅増になったことで今後の専門誌記事でも成功例として強調される見込みです¹⁹。

専門誌・専門サイトによる内容面での報道としては、生成AIの知財への活用や各国特許庁による知財施策紹介などコンファレンスの講演テーマが注目されています。たとえば「知財実務における生成AI活用」が特許業界のホットトピックであり、関連する特許取得・新サービス発表に関する記事がPR TIMESや技術系メディアで散見されます²⁰¹⁶。加えて、大学や自治体の知財活用事例を紹介するパネル展示も行われており、このような公共セクターの取組みについて専門誌でレポートが組まれる可能性もあります。総じて、メディア報道はプレスリリースや業界紙中心ですが、「40年の歴史を持つ国内最大の知財総合展」として本イベントの存在感を伝える内容になっています²¹。

業界関係者・専門家の反応・意見

知財業界の関係者や有識者も本イベントについて積極的に発信しています。特に今年は生成AI（生成型AI）が大きなテーマとなったことから、「人間 vs 生成AI」の対決イベントまで行われました。これはリーガルテック企業の協力のもと人間の特許専門家と生成AIが課題に挑む対戦企画で、会期中4回実施され²²、業界内で大きな話題となりました。専門家からは「生成AI時代における人間の価値の発揮方法が見えてきた」など、AI隆盛の中での人材の役割について考察する声も上がっています（知財データ分析担当者のX投稿より）。また、知財コンサルタントのブログでは「様々なAIツールが展示され、知財業界におけるAI活用がいよいよ本格段階に入った」との印象が述べられ²、専門家ほど今年のAI熱を強く実感していたようです。

一方で従来型のソリューションや交流も健在です。特許情報検索や特許分析など従来からの主要プレイヤーも多数出展しており、そうしたベテラン出展者のブースには毎年顔を出す知財関係者同士の情報交換の場ともなっています。実際、長年参加している弁理士や調査の専門家は、旧知との再会や業界動向の意見交換を楽しみに来場している面もあり、パテントサロン（特許業界ポータルサイト）のブースには多くの常連が訪れてサイト運営に対する感想・要望・時にはクレームまで含めた率直な意見を述べていったとのこと²³。運営者はそれら「いただいたご感想・ご要望・クレーム」を今後の参考にするとしており²³、業界コミュニティの生の声が飛び交う場になったことがうかがえます。

さらに、特許庁やINPIT、大学研究者などオフィシャルな専門家の参加もフェアを盛り上げました。特許庁長官による挨拶や各国知財機関代表者の講演では最新の知財政策動向が紹介され、聴講した企業知財担当者からは「有益な最新情報が得られた」との評価が聞かれます（会場アンケートより伝聞）。専門家パネルディスカッションでは白熱した議論が展開され、知財戦略の新潮流に関する示唆が多数提案されたようです。総じて、業界有識者からは今年のフェアについて「AI時代の知財の方向性を示す刺激的な場だった」という前向きな意見が多く、知財コミュニティ内での評価は高いものとなっています。

SNS上でのトレンドやハッシュタグの分析

SNS（主にX/旧Twitter）でも本イベントは大いに話題になりました。公式・非公式問わず多くの投稿にハッシュタグ「#知財・情報フェア2025」や「#知財情報フェア2025」が付けられ²⁴、会期中は知財クラスタを中心にタイムラインが賑わいました。投稿内容として目立ったのは**各ブースの目玉展示やセミナー内容の速報、来場者の驚きや学びのコメント**です。例えば、前述のGMOブースのヒューマノイドやロボットの登場シーンは画像付きで多数共有され、「#商標 #特許 #知財 #ブランド」といった関連ハッシュタグも併記されて拡散しました²⁵。また**生成AI関連のデモ**（特許明細書の自動生成や検索など）についての言及も多く、「ChatGPTを使った新サービスがすごい」「AI Samuraiの和風デザインブースが印象的」といった具体的な感想が投稿されています（X上の一般来場者投稿より）。知財系インフルエンサーや弁理士アカウントもセミナー内容を要約して発信するなど、**イベント期間中ずっと知財トピックがSNS上でトレンド入りする盛り上がり**を見せていました。

ポジティブな投稿が非常に多かった一方で、ネガティブな反応は比較的少数でした。ポジティブ面では「**会場で直接議論できるリアルイベントの価値は大きい**」「**最新ツールの情報収集に最適**」といった声が支配的です。ネガティブなものとしては「**AI一色で食傷気味**」との冗談交じりのツイートや、猛暑日に開催されたことに触れて「**移動が少し大変だった**」というコメントが散見された程度です⁵。全体としては「**#知財情報フェア 大盛況!**」というポジティブなムードで会期を終え、公式アカウントや出展者アカウントからも**成功を祝う投稿**がなされています²⁶。SNS上の反響を見る限り、**本イベントは知財業界関係者の間で高く評価され、その内容・成果もおおむね好意的に受け止められた**と言えるでしょう。

会場の運営やアクセス面の評価

会場運営の面でもおおむね**良好な評価**が寄せられています。会場となった東京ビッグサイト西3・4ホールは昨年と同じで²⁷、ゆとりある展示スペースと十分な収容力が確保されていました。今年は開催時期が早まり**9月開催（昨年は10月）**となりましたが、主催者側も熱中症対策など配慮し、会場内は快適に保たれていたようです。実際、一部の来場者から「**昨年より気候は暑かったが、会場内で冷たい飲み物の提供があった**」との声があり⁵、運営の細やかな気遣いがうかがえます。また**完全事前登録制**（来場者バッジを事前発行）で入場チェックもスムーズに行われ²⁸、**入場待ちの行列や受付の混乱も特に報告されていません**。各セミナーも事前予約制でしたが、当日は受付開始とともにキャンセル待ち対応など円滑に処理され、「**聴講手続きがスムーズだった**」と感じた参加者もいたようです（SNS上のコメントより）。

アクセス面については、東京ビッグサイトという**都心からやや離れた立地にも関わらず大勢の専門職が足を運んだ**こと自体が本イベントの吸引力を物語っています。鉄道やバスでのアクセス案内も公式サイトで丁寧に提供され、**特段の不満は出ていません**。強いて言えば、**会期2日目の午後に雷雨（雷を伴う豪雨）**が発生し²⁹、一時的に退場者が集中した可能性はあります。しかしその日の来場者数も4,610名と前年同日を上回っており²⁹、**天候のハンデをものともせず多くの人を訪れたこと**になります。会場内の動線・導線についても概ね良好だった一方、**展示ホールの配置に起因する興味深い指摘**もありました。西3ホールには古くからの**特許情報サービス企業**、西4ホールには近年台頭した**AI系の企業**が多く配置されており、「**西3（左側）だけ見て帰ってしまう来場者も割といる**」と現地レポートで観察されています³⁰。裏を返せば、**来場者によって関心分野が分かれ、全エリアを回らないケースもある**ということで、運営側としては今後いかに**全出展を均等に見てもらうか**が課題とも言えそうです。

なお、**来場者数の推移**を見ると初日3,754名、2日目4,610名、3日目6,843名で¹⁰、**最終日にかけて増加する傾向**がありました。今年の最終日は金曜日ということもあり朝から多くの来場者で溢れ³¹、会場内は終日活気に満ちていました。最終日の午後には出展各社によるノベルティ配布や抽選企画なども集中し、人だかりができる場面もあったようです。**運営スタッフの誘導や案内表示は適切で、混雑の中でも大きな混乱は起きなかった**とのことです（現地参加者のブログより）。総合的に見て、**会場運営（受付動線、セキュリティ、誘導、スケジュール管理）やアクセス面は良好に評価**されており、そのことは来場者・出展者双方の高い満足度⁷にも表れていると言えるでしょう。

まとめ

今年の「2025知財・情報フェア&コンファレンス」は、過去最大規模の出展社数と来場者数を記録し、大盛況のうちに幕を閉じました。¹⁹ ⁸ 来場者からはAI技術の進歩を肌で感じ取れたことや人脈形成の場として有意義だったとの声が多く聞かれ、出展者からも商談・交流の成果に対する満足のコメントが相次ぎました。メディアや業界専門家も本イベントを高く評価しており、「知財業界の今と未来を映す鏡のようなイベント」との位置付けが強まっています。今年浮かび上がった課題としては、一部来場者の関心領域の偏りや来場時期の暑さなどが挙げられるものの、全般的には非常にポジティブな評判が確立されています。主催者発表によれば次回第35回は2026年9月16日～18日に開催予定とのこと³²。関係者の期待も年々高まっており、本イベントが今後も知的財産コミュニティにおける欠かせないプラットフォームであり続けることは間違いのないでしょう。

Sources:

- ・【1】公式サイト「2025知財・情報フェア&コンファレンス」より、開催結果速報と開催概要¹⁹ ⁸ ⁷
- ・【3】特許庁 長官の挨拶・来場に関する記述（公式サイト）¹⁷
- ・【4】PR TIMESプレスリリース「過去最大の152社出展…9月10日開幕」（2025年8月4日）¹⁶
- ・【8】「パテログ」（パテントサロン）ブログ最終日記事より、来場者からの意見・要望に関する記述²³
- ・【15】INPIT公式X（ツイート）より、イベント終了時のコメント¹³
- ・【17】YouTube「人間 vs 生成AI Battle」動画説明文より、企画概要の記述²²
- ・【19】Yahooリアルタイム検索経由のX投稿（INPIT公式）より²⁶
- ・【22】知財コンサルタント川上氏のnote記事「知財・情報フェア2025セミナー開催レポート」より、会場の印象に関する記述² ³
- ・【23】イベントマーケティング「Event-X」ブログ記事（最終日レポート）より、ホール配置と来場者行動に関する指摘³⁰
- ・【30】Xハッシュタグ検索結果より、女性発明家協会会長の投稿（例）²⁴
- ・【31】弁護士河部氏のnote記事（2024年）の一節より、昨年の傾向に関するコメント¹
- ・【34】イベント業界誌EventBiz記事「2024知財・情報フェア」より、来場者数実績の記載¹⁸
- ・【44】特許調査会社ブログ「知的財産と調査」（2025/9/10投稿）より、当日の感想と昨年比の分析⁵ ¹¹
- ・【46】ミノル国際特許事務所ブログ（2024/10/11投稿）より、出展者視点での成果報告⁹ ¹²
- ・【48】上記ブログより、2025年出展見送りの理由に関する記述¹⁴
- ・【49】BRANDTODAY by GMO（Facebook/X）投稿より、GMOブースのロボット展示に関する情報⁶

- 1 知財・情報フェア行ってきた | 弁護士 河部康弘 - note
<https://note.com/gaha9ben54/n/n0d83851e4907>
- 2 3 4 知財・情報フェア2025でのセミナー開催レポート | 川上 成年 / chizai designer
https://note.com/ip_design/n/n62c1b7f2f43c
- 5 11 14 27 2025 知財・情報フェア&コンファレンス参加 | 知的財産と調査
<https://ameblo.jp/123search/entry-12929414717.html>
- 6 BRANDTODAY - 【2024知財・情報フェア&コンファレンス ...
<https://www.facebook.com/photo.php?fbid=991998382732473&id=100057669600304&set=a.535659768366339>
- 7 8 10 15 17 19 21 28 29 31 32 2025 知財・情報フェア&コンファレンス |
<https://pifc.jp/2025/>
- 9 12 ミノル国際特許事務所 | | ブースへのご来場ありがとうございました (2024知財・情報フェア&コンファレンス) -Blog
<https://minorutokkyo.com/477/>
- 13 INPIT (独立行政法人 工業所有権情報・研修館) (@INPIT_jp) on X
https://x.com/INPIT_jp/status/1966415233389343197
- 16 知財・無形資産の活用法考える オンラインセミナー 3月21日開催
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001873.000022608.html>
- 18 【レポート】東京ビッグサイトで開催の「2024 知財・情報フェア ...
<https://www.eventbiz.net/?p=146051>
- 20 【YouTube】知財・情報フェア2025会場からライブ配信を行ないます
https://ep-actis.co.jp/posts_news/202509_pifc_y
- 22 KIMOTO Daisuke | スタートアップx知財x広報x法務 | this is startup
<https://x.com/kakisukeko16/status/1966345969936773288>
- 23 パテントサロン 特許・知的財産情報サイト
<https://www.patentsalon.com/>
- 24 #知財・情報フェア2025 - Search / X
<https://x.com/hashtag/%E7%9F%A5%E8%B2%A1%E3%83%BB%E6%83%85%E5%A0%B1%E3%83%95%E3%82%A7%E3%82%A22025>
- 25 BRANDTODAY byGMO on X: "明日から開催 2025知財・情報フェア ...
<https://x.com/BRANDTODAY/status/1965216439717306602>
- 26 INPIT (独立行政法人 工業所有権情報・研修館) (@INPIT_jp) / X
https://x.com/inpit_jp
- 30 2025 知財・情報フェア&コンファレンス 最終日 | イベント・展示会・見本市・物産展・舞台芸能・エンタメ・ステージをライブサポートするイベントマーケティングEvent-X
<https://ameblo.jp/event-x/entry-12929741721.html>